

停戦受け入れのイラン政府声明(全文)

要旨

イラン最高国家安全保障会議は、米国とその同盟勢力が仕掛けた戦争に対し、イランと「抵抗の軸」が 40 日間で歴史的勝利を収め、敵は壊滅的打撃を受け停戦を懇願していると主張した。イランは非侵略の保証、ホルムズ海峡支配、制裁解除、米軍撤退、損害賠償などを含む 10 項目案を提示し、米国がこれを交渉の基礎として受け入れたと述べる。今後、イスラマバードで最大 15 日間の交渉を行い、詳細が確定して初めて停戦を受け入れるとし、国民に団結と勝利の維持を呼びかけている。

英国の中東関連サイト「ミドルイーストアイ」(4月8日)による

[Full text of Iran's National Security Council statement on ceasefire | Middle East Eye](#)

<https://www.middleeasteye.net/news/full-text-iran-national-security-council-statement-ceasefire>

以下は、停戦に関するイラン最高国家安全保障会議の声明の全文である：

敵は、イラン国民に対して臆病で違法かつ犯罪的な戦争を仕掛けた結果、否定しようのない歴史的で壊滅的な敗北を喫した。 イスラム革命の殉教した指導者、大アヤトラ・イマーム・ハメネイ師(その魂に平安あれ)の清らかな血の加護、イスラム革命最高指導者であり総司令官でもあるモジュタバ・ハメネイ師(神のご加護あれ)の賢明な指導、そして戦線で戦うイスラムの戦士たちの奮闘 とりわけ、戦争初日から続く国民の歴史的で揺るぎない英雄的な参加

によって、イランは大きな勝利を収め、犯罪国家アメリカにイランの 10 項目案を受け入れさせることに成功した。

この計画において、米国は、非侵略の保証、ホルムズ海峡に対するイランの支配権の維持、濃縮活動の容認、一次および二次制裁の全面解除、安全保障理事会および理事会によるすべての決議の終了、イランへの損害賠償の支払い、同地域からの米軍戦闘部隊の撤退、そしてレバノンの英雄的なイスラム抵抗勢力を含むあらゆる戦線における戦争の終結を、根本的に約束するものである。

我々は、この勝利を機にイラン国民のみなさんを心より祝福するとともに、勝利の詳細が確定するまでは、当局者の揺るぎない決意と慎重さ、そしてイラン国民の間の団結と連帯を維持し続ける必要があることを強調する。

イスラム・イランは、レバノン、イラク、イエメン、そして占領下のパレスチナにおける抵抗運動の勇敢なムジャヒディンと共に、過去 40 日間にわたり、世界の歴史が決して忘れることのない打撃を敵に与えてきた。イランと「抵抗の軸」は、人類の最も残忍な敵に対する名誉と人道の代表として、歴史的な戦いの末、彼らに忘れがたい教訓を突きつけた。

彼らは戦力、施設、インフラ、そして政治的、経済的、技術的、軍事的資産のすべてを徹底的に破壊されたため、敵は今や崩壊と絶望の淵に突き落とされ、偉大なるイランという国家と尊厳ある「抵抗軸」の意志に降伏する以外に道を見出せなくなっている。

イランの敵対勢力がこの抑圧的な戦争を開始した初日、彼らは短期間のうちにイランを軍事的に完全に制圧し、政治的・社会的な不安定さを引き起こすことでイランを降伏させることができると想定していた。彼らは、イランのミサイルやドローンによる攻撃はすぐに鎮圧されるだろうと考えており、イランが国境を越えて地域全体にこれほど強力な反撃を加えられるとは考えていなかった。

世界的な悪であるシオニズムは、無知なアメリカ大統領を説得し、この戦争によってイランを壊滅させ、人類と人道の最後の砦を排除した後は、彼らが望む

相手に対して、いかなる犯罪も平然と犯せるようになるだろうと信じ込ませた。彼らは、愛すべきイランを分割し、その石油と富を略奪し、最終的にはイラン国民を長きにわたり混沌、不安定、そして不安の中に陥れることを夢見ていた。

イスラムの勇敢な戦士たちと、「抵抗の軸」の気高き同盟者たちは、イマームの殉教によって心が傷つき、引き裂かれたにもかかわらず、全能の神に依り頼み、殉教者たちの主であり導き手に従い、これらの敵に歴史に残る教訓をここで決定的に与えると決意した。彼らは、これまでのあらゆる罪に対する復讐を果たし、愛するイランに対する敵の侵略の念を永遠に捨て去り、偉大なるイラン国民の前で屈辱と卑屈の味わいを余すところなく味わうような状況を作り出すことを選んだ。

この戦略に基づき、国内で築かれた前例のない政治的・社会的結束を原動力として、イランと抵抗勢力は、アメリカおよびシオニスト政権に対し、史上最も激しいハイブリッド戦争の一つを開始し、この期間中にこの紛争のために設定されたすべての目標を達成した。

イランと抵抗勢力は、この地域における米軍の軍事機構をほぼ完全に破壊した。彼らは、イランとの戦争に備えて敵が長年にわたりこの地域一帯に構築・配置してきた広範なインフラや施設に対し、壊滅的かつ深刻な打撃を与えた。地域レベルでは、犯罪的な米軍に甚大な損害を与え、占領地域内においては、敵の部隊、インフラ、施設、資産に対し、甚大かつ壊滅的な打撃を加えた。

敵は、あらゆる方面の戦線で抑え込まれたため、主要な目標は一つも達成されなかったばかりか、開戦から約 10 日後には、この戦争に勝つ能力を全く持ち合わせていないことを悟った。そのため、敵はイランとの接触を図り始め、様々なルートや手段を通じて停戦を要請するようになった。

尊厳あるイラン国民は知っておくべきである。若者たちの奮闘と国民の歴史的な参加によって、敵はすでに 1 ヶ月以上も、イランと抵抗勢力の激しい攻撃の停止を懇願し続けている。わが国の指導者たちは 敵の後悔と絶望、そしてわが国に対する長期的な脅威の排除といった目標が達成されるまで戦争を継続

することを当初から決めていたため これらすべての要請を拒否した。そして戦争は今日、すなわち 40 日目まで続いている。

さらにイランは、これまで米大統領から提示された複数の“期限”をすべて拒否してきた。そして、敵からどのような期限を突きつけられようとも、それを一切重要視しない、という立場を強調し続けている。

ここに、偉大なるイラン国民のみなさんに、戦争の目的のほぼすべてが達成され、勇敢な息子たちが敵を歴史的な窮地に追い込み、決定的な敗北を喫させたことをご報告する。国民全体の結束した支持に支えられたイランの歴史的な決断は、この戦いを、その偉大な成果が確固たるものとなり、イランと抵抗勢力の力と主権が認められることを基礎に、この地域に新たな安全保障および政治的構図が築かれるまで、必要な限り継続していくというものだ。

この点については、イスラム革命最高指導者セイエド・モジタバ・ハメネイ師（神のご加護あれ）の英断と、国家安全保障最高評議会の承認に基づき、さらに戦場でのイランと抵抗勢力の優勢、敵が大言壮語にもかかわらず脅しを実行できなかったこと、そしてイラン国民の正当な要求が正式に受け入れられたことを踏まえて、詳細を詰めるための交渉をイスラマバードで行うことが決定された。これにより、最大 15 日以内に詳細が最終決定され、戦場でのイランの勝利が政治交渉の場でも確固たるものとなるだろう。

この目的のため、イランは敵側が提示したあらゆる計画を拒否しつつ、10 項目の計画を策定し、パキスタンを経由して米国側に提示した。その計画では、イラン軍との連携によるホルムズ海峡の通行管理（これによりイランは独自の経済的・地政学的地位を獲得する）、抵抗軸の全構成勢力に対する戦争の終結の必要性（これは子供を殺害するイスラエル政権の侵略の歴史的な敗北を意味する）、同地域内のすべての基地および展開拠点からの米軍戦闘部隊の撤退、合意されたプロトコルに基づきイランの支配を保証するホルムズ海峡における安全な通過プロトコルの確立、見積もりに基づくイランへの損害賠償の全額支払い、理事会および安全保障理事会によるすべての一次・二次制裁および決議の撤廃、海外で凍結されているイランの全財産および資産の解放、そして最後

に、これらすべての項目を拘束力のある安全保障理事会決議として承認すること。この決議が承認されれば、これらすべての合意が拘束力のある国際法となり、イラン国民にとって重要な外交的勝利をもたらすことになる点は特筆に値する。

さて、パキスタンの首相閣下は、米国側が表向きの脅しにもかかわらず、これらの原則を交渉の基礎として受け入れ、イラン国民の意志に屈服したことをイラン側に伝えた。これを受け、最高レベルにおいて、イランはこれら原則のみに基づき、イスラマバードで米国側と2週間にわたる交渉を行うことが決定された。ただし、これは戦争の終結を意味するものではないことを強調する。イランは、イランが望む10項目計画の原則が受け入れられたことを踏まえ、交渉において詳細が確定して初めて、戦争の終結を受け入れることになる。

この交渉は、4月10日（金曜日、ファルヴァルディーン月21日）にイスラマバードで開始されるが、米国側に対する完全な不信感を抱いた上でのことである。イランは、この会談に2週間で充てる予定だ。この期間は、双方の合意により延長可能である。この期間中、完全な国民的結束を維持し、勝利の祝賀を力強く続けていくことが不可欠である。

現在の交渉は国家レベルの交渉であり、戦場の延長線上にある。革命指導者および体制の最高指導部の監督下にあるこのプロセスを、国民、エリート、政治団体すべてが信頼し、支持するとともに、分裂を招くような発言は厳に避ける必要がある。

もし戦場での敵の降伏が、交渉において決定的な政治的成果へと結びつくのであれば、我々は共にこの歴史的な大勝利を祝うだろう。そうでなければ、イラン国民の要求がすべて満たされるまで、我々は戦場で肩を並べて戦い続ける。我々の指は引き金にかかっている。敵がわずかな過ちを犯した瞬間、我々は全力をもって応戦する。

【翻訳チェック 田中靖宏】